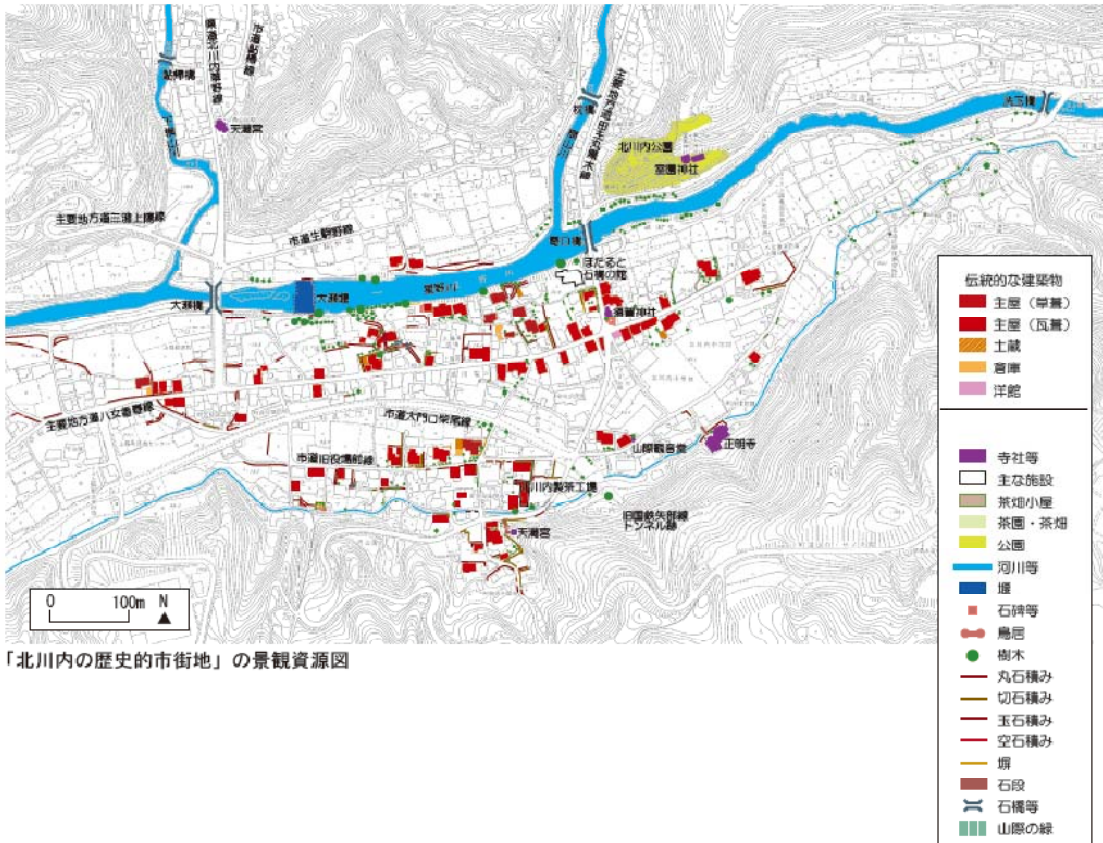


「八女文化的景観」による景観まちづくり推進事業
～「北川内の歴史的市街地」の地域景観づくり～

福岡県八女市

| |
|--|
| <p>景観まちづくりをリードする(規範となる)産官学の連携 →取組① 伝統家屋調査の実施と調査に基づくデザインコード(景観形成基準等)の検討 →取組② 八女文化的景観「北川内の歴史的市街地」に関する景観会議の開催 →取組③ 地元住民・事業者、学識者・市等の連携による景観まちづくり体制等の検討</p> <p>▼ 住民・産官学の連携強化による景観まちづくりの持続的発展・拡大</p> |
|--|

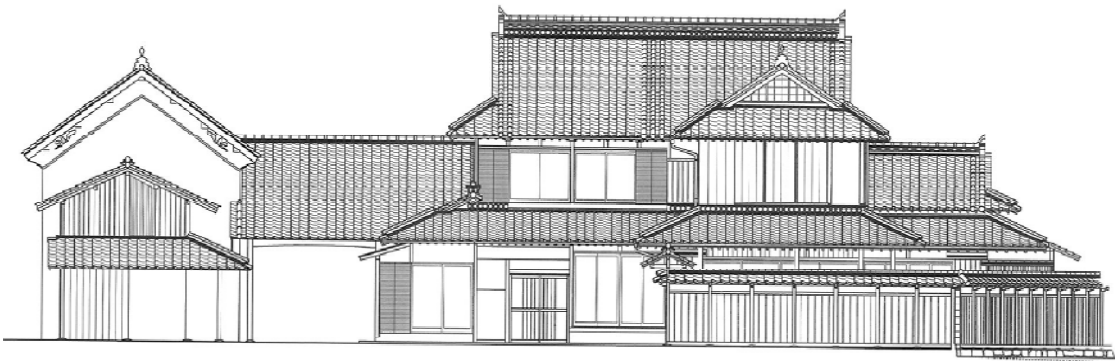
| | |
|--------------|---|
| <p>概要</p> | <p>本市は、「人々の暮らしにより支えられてきた地域固有の景観資源で構成され、八女の自然、歴史、文化、生活等、八女らしさを語る上で欠くことのできない景観」を「八女文化的景観」とし、「八女文化的景観を市民と発見・共有し、それらをいかすために、景観をまもり・つくる取り組み」を「景観まちづくり」と呼び、その推進を目指している。</p> <p>本事業のフィールドである北川内の歴史的市街地は、平成18年に八女市と合併した旧上陽町の中心地であり、典型的な「八女文化的景観」の一つに数えている。商店街に隣接して「ほたと石橋の館」が位置し、観光や交流といった視点を取り入れた地域の活性化が課題となっている。</p> <p>本事業では、北川内の活性化に寄与する景観まちづくりの推進を目指し、学識者(※1)と「NPO法人八女町並みデザイン研究会」(※2)との連携のもと、景観まちづくりに対する地元の機運を高めるとともに、その実践的な取り組みを通して、住民・産官学の連携による持続的な景観まちづくりの展開に向けた体制や仕組みの構築を目指すものである。</p> <p>※1=久留米工業大学教授(工学部建築・設備工学科)</p> |
| <p>実施内容</p> | <p>① 町並み保存やまちづくりの専門家である学識者と、市内の重要伝統的建造物群保存地区(八女福島地区)の修理・修景で培った技術を持つデザイン研究会の会員により、都市変遷の調査、伝統家屋の実測調査等に取り組んだ。 この調査成果を踏まえ、町並みの価値を顕在化するとともに、北川内固有のデザインコード(景観形成基準等)の検討及び景観規制・誘導方針案の検討を行った。</p> <p>② ①の成果を踏まえ、学識者とデザイン研究会の協力を得て当該地区住民を主な対象とした市民会議「北川内の景観まちづくりを語り合う会」の開催(全2回)に取り組んだ。 1回目は、景観まちづくりに対してこれまで馴染みのなかった地元住民に対して、伝統家屋等が地域にとって大切な景観資源であることを伝えることを狙いとした。2回目には、デザインコードや景観まちづくりの提案、および地場産材を活用した「八女産住宅」の紹介を行った。 会議の後は、アンケートを配布・回収し、参加者の意向把握に努めた。アンケートの結果から景観まちづくりに対する高い関心が窺えた。</p> <p>③ 上記の①と②、及びアンケートによる市内の建築技術者の現況把握等を踏まえ、住民・産官学の連携強化による持続可能な景観まちづくりを支える仕組みや体制づくりに向け、学識者、デザイン研究会とともに協議を重ね、検討を行った。 その結果、継続的な調査の実施、地元報告の開催、地元住民による景観まちづくり活動の促進、情報発信などが必要であり、そのためのソフト的な支援策の充実が求められることが共有された。</p> |
| <p>取組の成果</p> | <p>北川内の歴史的市街地が八女文化的景観にふさわしい地区であることが改めて明らかとなった。また、北川内には景観に関心のある市民が多く、景観まちづくりに対して前向きな地域であることが把握された。 住民・産官学の連携による景観まちづくりについては、今回の手法が景観まちづくりの普及啓発等に効果的であったことが大森研究室やデザイン研究会の相互に共有された。 特に、地元のデザイン研究会は、今回の取り組みを契機として、本市の景観まちづくりを牽引していく担い手としての意識が高まった。</p> |



概要：北川内の歴史的市街地の景観資源



取り組み①：伝統家屋調査の様子

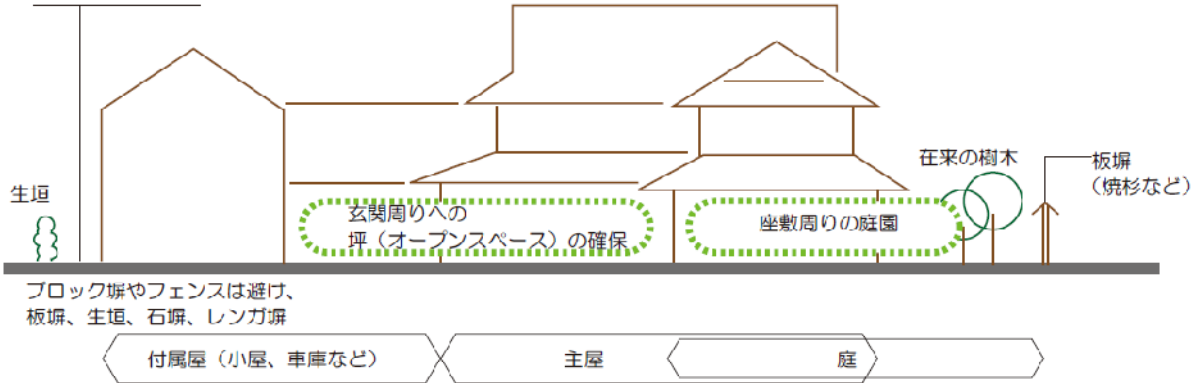


取り組み①：調査した伝統家屋の立面図(例)

敷地内の伝統的な主家、土蔵（くら）、納屋などの修理
主家、土蔵、納屋などの屋敷地構成の継承
自然、素材の風合いを生かした色彩

—— 周囲の屋根なみと調和した勾配屋根

周囲の町並みと調和し、
日照を遮らない高さ

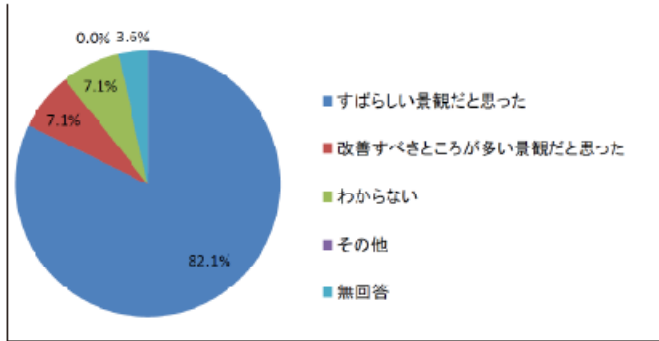


取り組み①：屋敷型のデザインコード(例)

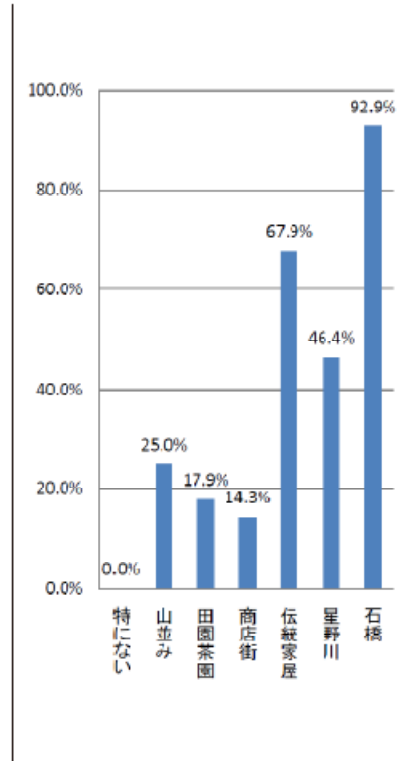


取り組み②：「北川内の景観まちづくりを語り合う会」の様子

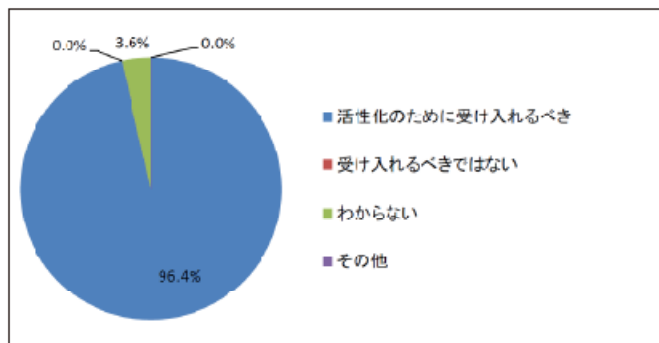
◆北川内の景観についての感想



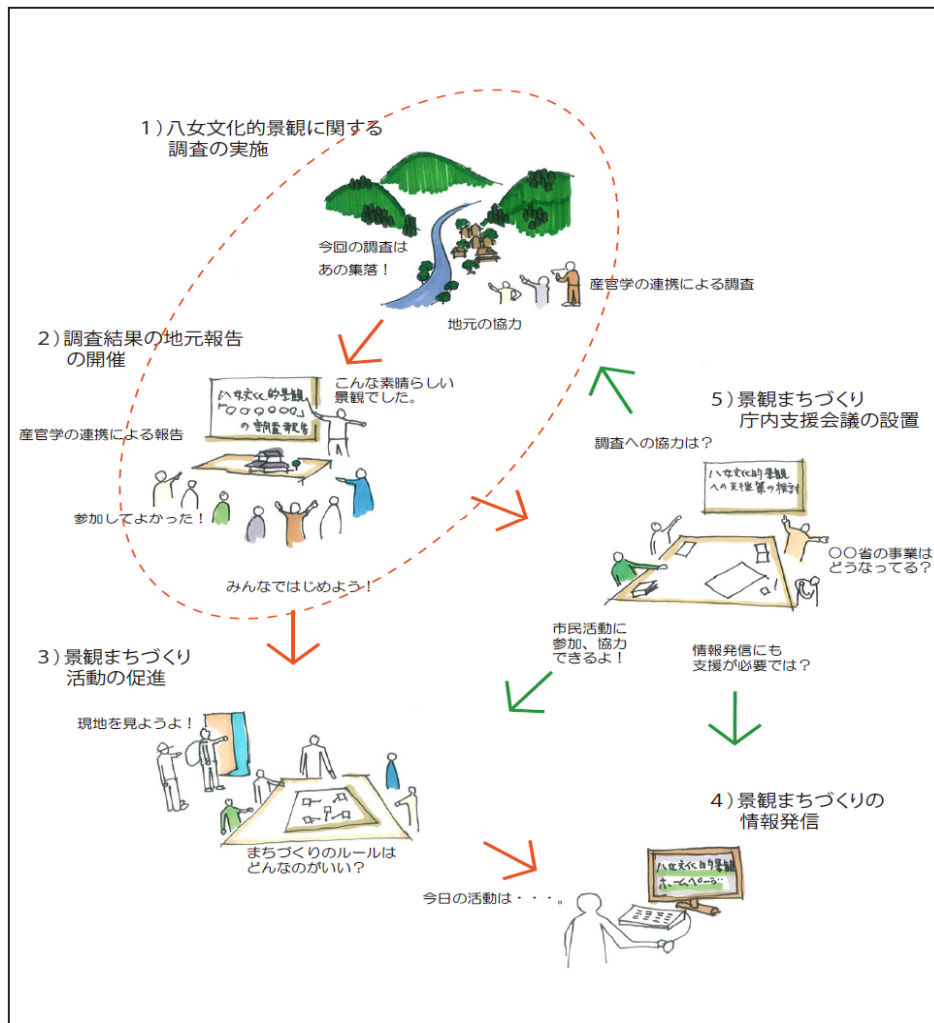
◆北川内の中で特に大切な景観資源



◆北川内への観光客や来訪者の受け入れ



取り組み②:アンケート結果



取り組み③:住民・産官学の連携による景観まちづくりの展開イメージ